

**Iwatani**

# 第77期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

岩谷産業株式会社



代表取締役会長兼CEO  
**牧野 明次**

代表取締役社長  
**谷本 光博**

「世の中に必要とされる企業」で  
あり続けるために  
新たな価値の創出に努め、  
社会に貢献していきます

### 株主の皆さまへ

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、当社の第77期事業年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)は、  
2019年9月30日をもって上半期を終了いたしました。ここに営業の概況、  
ならびに決算に関する諸計算についてご報告申し上げます。  
株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう  
お願い申し上げます。

2019年12月

当社は、四半期連結財務諸表規則に基づき四半期連結財務諸表を作成しておりますが、本報告書中、  
第2四半期連結累計期間に係る表現等については中間と読み替えて記載しております。

## 業績の概況

### 当中間期について

#### 「成長戦略の推進」と「経営基盤の拡充」

当中間連結累計期間における日本経済は、米中貿易摩擦を背景とした外需の悪化による輸出の低迷や  
在庫調整がみられたものの、消費税増税前の駆け込み需要を含む個人消費や省力化を中心とした設備投資  
に支えられ、緩やかな回復が続きました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「PLAN20」の基本方針である「成長戦略の推進」と  
「経営基盤の拡充」に取り組みました。

総合エネルギー事業においては、LPガス輸入価格が6月から下落した影響を受け、販売価格が下がるとともに、  
相対的に高値の在庫を販売することとなり、19億66百万円(前年同期比23億67百万円のマイナス)の減益要因  
が発生いたしました。

国内トップシェアの「カセットこんろ・ボンベ」については、発売50周年記念として、カセットこんろの新商品2種類  
を発売しました。

水素エネルギー社会の実現に向けては、国の補助対象となる水素ステーション事業において、当中間連結  
累計期間に4カ所の水素ステーションを開所いたしました。今年度中には伊ワタニ水素ステーション 東京葛西の  
開所も計画しており、それに加え、10カ所の建設についても取り組んでおります。

この結果、当中間連結累計期間の経営成績は、売上高3,231億円(前年同期比109億23百万円  
の減収)、営業利益83億17百万円(前年同期比20億25百万円の減益)、経常利益98億73百万円  
(前年同期比18億73百万円の減益)、親会社株主に帰属する中間純利益62億32百万円(前年同期比  
12億5百万円の減益)となりました。

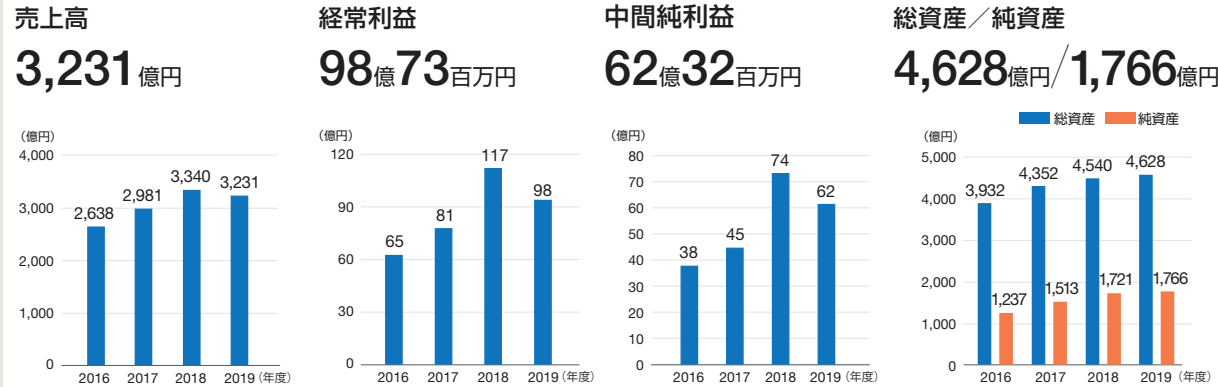
なお、当社グループの事業構造はエネルギー関連商品を主力としており、季節変動による影響を大きく受ける  
傾向にあります。LPガスの消費量は、気温や水温の影響を受けるため、販売量は夏季に減少し、冬季に増加  
します。このため当社グループは利益が下半期に偏る収益構造を有しています。

### Index

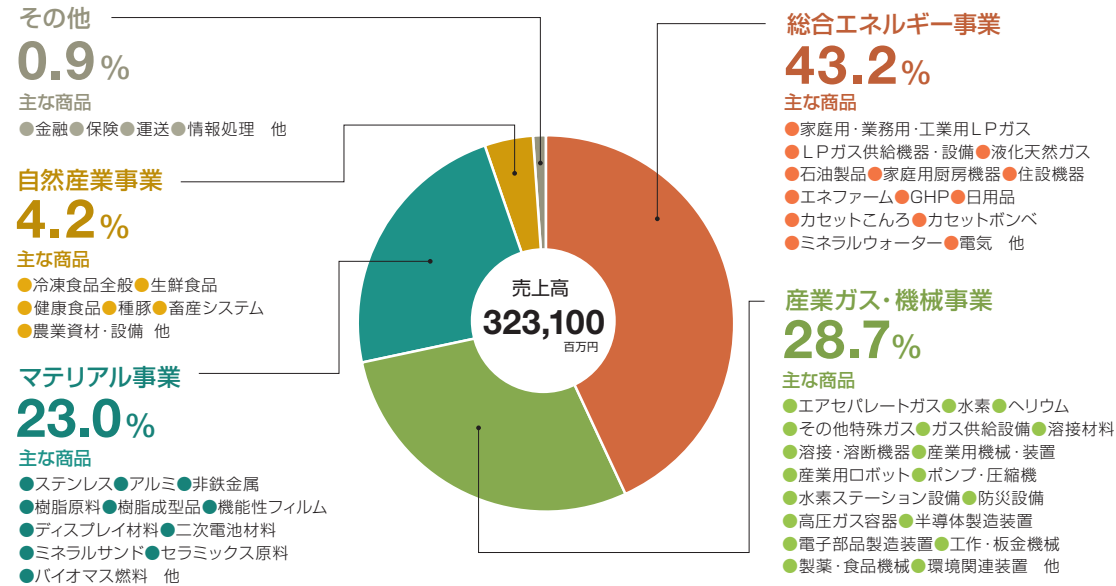
株主の皆さまへ	1	中間連結財務諸表	8
業績の概況	2	株式に関する事項	9
中間業績ハイライト	3	会社情報	10
セグメント別の概況	4	トピックス	11

# 中間業績ハイライト

## ■損益の推移



## ■セグメントの状況



当期より、連結子会社についてセグメントの区分変更を行っています。このため、第76期(2018年度)中間の各数値は、当期の区分に対応して組み替えて表示しております。

# セグメント別の概況

## 総合エネルギー事業

総合エネルギー事業は、「カセットこんろ・ボンベ」やガス保安機器の販売が好調に推移しましたが、LPガスの輸入価格が低位に推移したことに伴い、販売価格が下落し減収となりました。

また、利益面では、LPガスの市況要因(前年同期比23億67百万円のマイナス)により減益となりました。

この結果、当事業分野の売上高は1,396億12百万円(前年同期比100億63百万円の減収)、営業利益は19億04百万円(前年同期比14億16百万円の減益)となりました。



最新のLPガスメーター (E型マイコンメーター)



アウトドア需要の拡大などにより売上が伸長したカセットこんろ・ボンベ





# セグメント別の概況

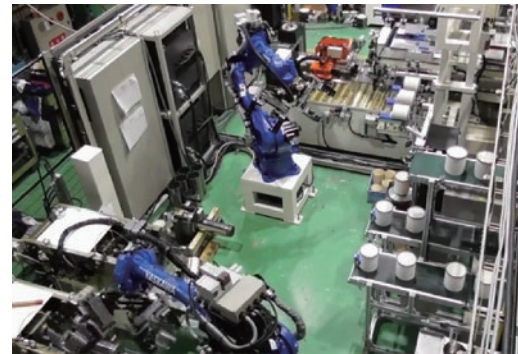
## 産業ガス・機械事業

産業ガス・機械事業は、エアセパレートガスについては、電子部品業界および光ファイバー業界向けの販売が減少しましたが、ヘリウムは、世界的な需給ひっ迫により市況が上昇しました。また、半導体業界や光ファイバー業界向けに液化水素の販売が低調に推移しましたが、自動車関連向け溶接装置、電子部品製造装置等の機械設備の販売が伸長しました。

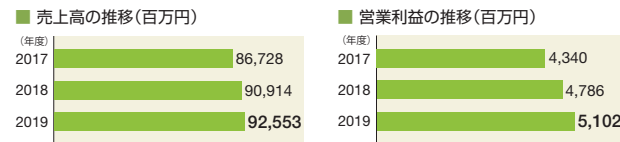
この結果、当事業分野の売上高は925億53百万円(前年同期比16億38百万円の増収)、営業利益は51億2百万円(前年同期比3億16百万円の増益)となりました。



4月に稼動を開始した東京ヘリウムセンター



自動車排気システム部品の自動組立ロボット



## マテリアル事業

マテリアル事業は、国内でチタンの販売数量が増加しましたが、海外では販売数量が減少しました。また、低環境負荷PET樹脂やエアコン向け金属加工品は堅調に推移しましたが、二次電池材料の市況が下落したことに加え機能性フィルムの販売が減少しました。

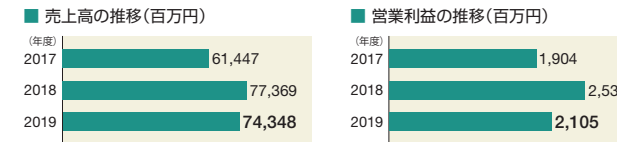
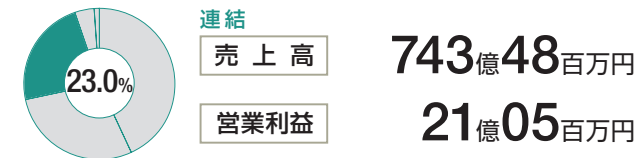
この結果、当事業分野の売上高は743億48百万円(前年同期比30億21百万円の減収)、営業利益は21億5百万円(前年同期比4億30百万円の減益)となりました。



低環境負荷PET樹脂を原料にしたボトル



エアコン向け金属加工品を製造しているバンコクアイ・トーア会社



## セグメント別の概況

### 自然産業事業

自然産業事業は、食肉メーカー向け食肉加工品の販売が減少しましたが、外食業界向け冷凍食品の販売は伸長しました。また、農業設備や畜産設備の販売は堅調に推移しました。

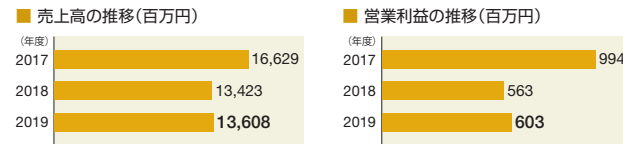
この結果、当事業分野の売上高は136億8百万円（前年同期比1億84百万円の増収）、営業利益は6億3百万円（前年同期比40百万円の増益）となりました。



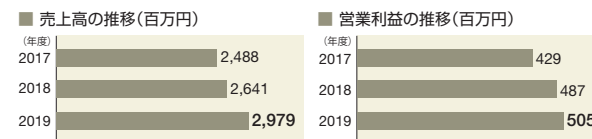
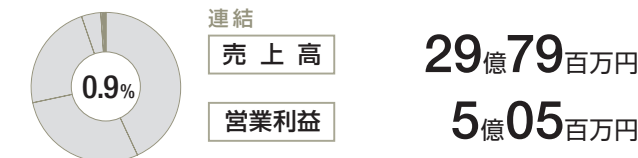
外食業界向け冷凍食品



受注が好調な大型畜産設備



### その他



## 中間連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表

(2019年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
項目	金額	項目	金額
<b>流動資産</b>	<b>197,299</b>	<b>流動負債</b>	<b>166,961</b>
現金及び預金	24,926	支払手形及び買掛金	61,569
受取手形及び売掛金	114,174	電子記録債務	22,822
商品及び製品	35,741	短期借入金	38,553
仕掛品	4,563	未払法人税等	2,764
原材料及び貯蔵品	4,558	賞与引当金	5,280
その他	13,547	その他	35,972
貸倒引当金	△212		
<b>固定資産</b>	<b>265,504</b>	<b>固定負債</b>	<b>119,151</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>169,311</b>	社債	35,031
土地	62,940	長期借入金	60,555
その他(純額)	106,371	役員退職慰労引当金	1,414
		訴訟損失引当金	157
		退職給付に係る負債	5,491
		その他	16,499
<b>無形固定資産</b>	<b>17,263</b>	<b>負債合計</b>	<b>286,112</b>
のれん	13,878	<b>純資産の部</b>	
その他	3,384	<b>株主資本</b>	<b>151,320</b>
		資本金	20,096
<b>投資その他の資産</b>	<b>78,929</b>	資本剰余金	16,728
投資有価証券	64,995	利益剰余金	116,000
その他	14,527	自己株式	△1,504
貸倒引当金	△593	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>16,903</b>
		その他有価証券評価差額金	16,244
		繰延ヘッジ損益	780
		為替換算調整勘定	△416
		退職給付に係る調整累計額	294
		<b>非支配株主持分</b>	<b>8,467</b>
<b>資産合計</b>	<b>462,804</b>	<b>純資産合計</b>	<b>176,691</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>462,804</b>

### 中間連結損益計算書

(2019年4月1日~2019年9月30日)

(単位:百万円)

項目	金額
<b>売上高</b>	<b>323,100</b>
売上原価	242,975
<b>売上総利益</b>	<b>80,125</b>
販売費及び一般管理費	71,808
<b>営業利益</b>	<b>8,317</b>
営業外収益	2,414
営業外費用	858
<b>経常利益</b>	<b>9,873</b>
特別利益	744
特別損失	531
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>10,086</b>
法人税等	3,463
<b>中間純利益</b>	<b>6,622</b>
非支配株主に帰属する中間純利益	389
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>6,232</b>

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(2019年4月1日~2019年9月30日)

(単位:百万円)

項目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	△338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,104
現金及び現金同等物の期首残高	19,510
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	27
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,643

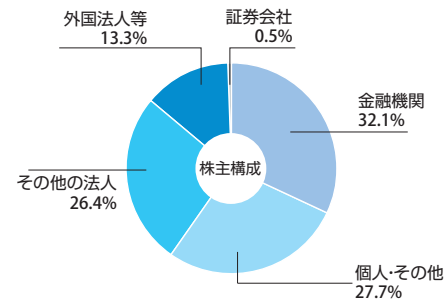
## 株式に関する事項 (2019年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式総数	49,265,117株
株主数	23,697名
(2019年3月末株主数との比較)	(360名減)

(注)発行済株式総数は、自己株式(1,007,888株)を控除しております。

### 株主構成(株式保有割合)



(注)株式保有割合は、自己株式(1,007,888株)を控除して計算しております。

### 株式に関するご案内

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- **定時株主総会** 毎年6月に開催
- **期末配当金の基準日** 3月31日
- **公告の方法** 当社のホームページに掲載いたします。  
<http://www.iwatani.co.jp/>
- **株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- **特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- **同連絡先** 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502大阪府中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777(フリーダイヤル)  
インターネットホームページ  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- **上場証券取引所** 東京証券取引所 市場第一部

### 大株主

株主名	持株数	持株比率
公益財団法人岩谷直治記念財団	4,132 千株	8.39 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,565	5.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,642	3.33
有限会社テツ・イワタニ	1,374	2.79
株式会社三菱UFJ銀行	1,336	2.71
株式会社りそな銀行	1,177	2.39
岩谷産業泉友会	923	1.87
日本生命保険相互会社	898	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	875	1.78
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	836	1.70

(注) 1.持株比率は、自己株式(1,007,888株)を控除して計算しております。  
2.岩谷産業泉友会は、当社従業員による持株会であります。

#### (ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### (単元未満株式の買取請求・買増請求につきまして)

当社では、証券市場でお取引できない単元未満株式(100株に満たない株式)の買取制度(ご売却)及び買増制度(ご購入)を採用しております。ご希望の株主様は、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)へお申し出ください。また、特別口座に当社株式をご所有の株主様は、当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。

## 会社情報

### 会社の概要

商号	岩谷産業株式会社
英文名	Iwatani Corporation
本社	〒541-0053 大阪市中央区本町3丁目6番4号 TEL.(06)7637-3131
東京本社	〒105-8458 東京都港区西新橋3丁目21番8号 TEL.(03)5405-5711
設立	1945年2月2日
創業	1930年5月5日
資本金	200億96百万円(2019年10月31日現在)
従業員数	1,507名(2019年10月31日現在)
URL ホームページアドレス	<a href="http://www.iwatani.co.jp/">http://www.iwatani.co.jp/</a>

### ネットワーク (2019年10月31日現在)

#### 国内78カ所

本社	大阪、東京
国内支社・支店など	北海道、東北、関東、中部、中国、九州等 73カ所
研究所など	中央研究所、滋賀研修所、琵琶湖コンファレンスセンター

#### 海外65カ所

海外支社	シンガポール
駐在員事務所	北京、パース、中東、欧州、ドーハ
商社現地法人等	上海岩谷有限公司、広州岩谷貿易有限公司 香港岩谷有限公司、泰国岩谷会社 米田岩谷会社 等 59社

### 役員 (2019年11月1日現在)

#### 取締役及び監査役

代表取締役会長兼CEO	牧野 明次	取締役	※ 村井 眞二
代表取締役副会長	渡邊 敏夫	取締役	※ 森 詳介
代表取締役社長執行役員	谷本 光博	監査役	尾濱 豊文
取締役 副社長執行役員	上羽 尚登	監査役	福澤 芳秋
取締役 副社長執行役員	間島 寛	監査役	※※ 堀井 昌弘
取締役 専務執行役員	岩谷 直樹	監査役	※※ 篠原 祥哲
取締役 専務執行役員	太田 晃		
取締役 専務執行役員	渡邊 聡		
取締役 専務執行役員	堀口 誠		
取締役 専務執行役員	大川 格		

※印の取締役は社外取締役であります。  
※※印の監査役は社外監査役であります。

#### 執行役員

常務執行役員	酒井 泰	常務執行役員	碓 浩一郎
常務執行役員	増田 昌義	常務執行役員	福島 洋
常務執行役員	亀倉 隆志	上席執行役員	床本 浩二
常務執行役員	町頭 禎之	上席執行役員	松尾 哲夫
常務執行役員	大貫 恭	上席執行役員	倉本 博之
常務執行役員	上田 恭久	上席執行役員	矢野 浩之
常務執行役員	齊田 吉治	執行役員	本折 憲司
常務執行役員	長谷川 宏明	執行役員	西村 昌人
常務執行役員	北口 敬重	執行役員	宮垣 尚民
常務執行役員	吉川 毅	執行役員	清水 尚之
常務執行役員	津吉 学	執行役員	一色 渉
常務執行役員	小林 浩次	執行役員	ジョー・カペロ



## 水素関連

大阪、和歌山、愛知、新潟で水素ステーションを開所  
米国・カリフォルニア州でも4カ所で運営開始

当社では、水素エネルギー社会の実現に向け、燃料電池自動車（FCV）に水素を供給する水素ステーションの整備を進めています。

4月には、関西エアポート株式会社の協力のもと、大阪伊丹空港内に当社24カ所目となる水素ステーションを開所いたしました。関西エアポート株式会社では、水素等のクリーンエネルギーの利用促進に積極的に取り組んでおり、2016年には関西国際空港内に水素ステーションを開所しています。大阪伊丹空港内で水素ステーションが開所したことにより、両空港を結ぶ「水素の道」が完成いたしました。

また、北信越地方初となる水素ステーションを新潟市中央区に開所したほか、名古屋市熱田区や和歌山市でも開所し、当社が運営する水素ステーションは合計で27カ所になりました。

5月14日には、和歌山市での水素ステーション開所を記念し、世耕弘成 元経済産業大臣や、仁坂吉伸 和歌山県知事、尾花正啓 和歌山市長など多くの方に来賓としてご列席いただき、「開設記念

式典」および「水素エネルギーフォーラム in 和歌山」を開催いたしました。

国が定めた「水素・燃料電池戦略ロードマップ」では、2020年までに水素ステーションを160カ所整備する計画が示されており、現在、全国で約100カ所の水素ステーションが整備されています。当社では、FCVの普及促進とユーザーの利便性向上を目指し、2020年度までに、既に開所済みの27カ所と合わせて、合計53カ所の水素ステーションを開所する予定です。

また、米国・カリフォルニア州にて水素ステーション4カ所を買収し、本年4月より運営を開始いたしました。同州ではZEV（無公害車）規制により、州内で一定以上の自動車販売を行うメーカーは販売台数の一定比率をZEVにすることが義務付けられており、日本以上にFCVが普及しています。今後も、カリフォルニア州を中心に、米国内で20カ所程度の運営を目指し拠点拡充に取り組んでまいります。



伊ワタニ水素ステーション 大阪伊丹空港



米国カリフォルニア州で運営を行っている水素ステーション

## 商品・事業関連

カセットフー発売から50周年  
国内シェアは、こんろ80%、ボンベ57%に

小型容器で持ち運び自由な「ガスの電池」という発想のもと開発された「イワタニホースノン・カセットフー」は1969年に販売を開始し、今年で50周年を迎えました。

当社では、消費者ニーズの多様化に合わせ、「たこ焼器」や「焼肉グリル」「ホットプレート」など幅広い商品を開発し、1年を通じて様々な場面で活躍する商品として着実にシェアを伸ばしてまいりました。現在国内では、カセットこんろ80%、カセットボンベ57%のシェアを獲得しています。また、近年では、頻発する自然災害により、非常時に役立つ防災用品としても注目が高まっています。

## 〈カセットこんろ2機種を新発売〉

発売50周年を冠したカセットこんろ2機種「カセットフー 達人スリムⅢ」「カセットフー プチスリムⅡ」を7月より発売しました。

「カセットフー 達人スリムⅢ」は、スリムなデザインと「タテ型炎口バーナー」による省エネ性能が特長で、2012年に発売した初代からの累計販売台数が530万台を超える人気機種です。新シリーズは、周年を記念した新色「ゴールド」を採用しています。

「カセットフー プチスリムⅡ」は、近年人気が高まっている、ソロ焼肉、ソロキャンプなどの、おひとり様需要に適した小型タイプのカセットこんろです。食卓に占める面積は、当社標準型カセットこんろの約6割サイズで、携帯性および収納性を高めています。



カセットフー 達人スリムⅢ

## 〈50周年キャンペーンを実施〉

長年のご愛顧に感謝し、2019年10月1日から2020年3月31日まで、イワタニカセットガス3本組1パックをご購入いただいたお客様の中から抽選で1,000名の方にJTBギフトカード5,000円分が当たる「カセットフー発売50周年キャンペーン」を実施しています。

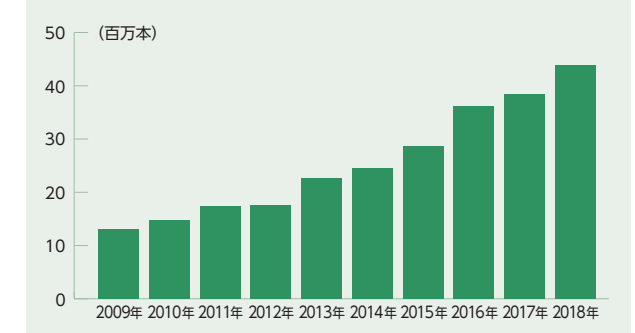
今回は、より多くの方に参加いただけるよう、例年のキャンペーンを拡大し、当選者数を500名から2倍の1,000名に、応募条件をイワタニカセットガス3本組2パックから1パックに変更いたしました。

## 〈海外での販路拡大に注力〉

当社では、1996年に中国珠海市でカセットこんろ・カセットボンベの生産を開始して以来、中国市場での拡販に取り組み、2019年度の販売数量は大きく伸ばいたしました。

今後は、国内および中国での更なる拡販に加え、東南アジアを中心とした新たな地域での販路拡大にも積極的に取り組んでまいります。

## 中国でのカセットボンベの販売数量推移



## 商品・事業関連

台風15号および19号の被災地に災害救援物資を搬送  
「サウジアラムコー岩谷産業 緊急災害時LPガス支援基金」を発動



台風15号の被災地に搬送した救援物資

9月9日に関東地方に上陸した台風15号および、10月12日に関東、東北地方に上陸した台風19号の被害に対して、「サウジアラムコー岩谷産業 緊急災害時LPガス支援基金」を発動し、被災地の自治体向けに、カセットこんろや、富士山の天然水「富士の湧水」をお届けいたしました。

本基金は、日本国内で大規模な自然災害が発生した際、被災地に緊急救援物資としてカセットこんろおよび、カセットガスを無償提供することを目的に2009年に設立されたものです。これまでに、2011年の東日本大震災や、2016年の熊本地震などで救援物資をお届けしています。

G20大阪サミットに「富士の湧水」を提供  
海洋プラスチックごみ削減対策として会議場内に設置

6月28日、29日に開催されたG20大阪サミットにおいて、会議場内にウォーターサーバーを設置し、天然水「富士の湧水」を無償提供いたしました。

G20関係閣僚会議では、海洋プラスチックごみによる海洋汚染が議題として取り上げられ、各国の取り組みが議論されました。G20大阪サミットでは、プラスチックごみ削減のため、会議場内へのペットボトルの持ち込みが禁止されており、飲料水として当社が手掛ける天然水「富士の湧水」1,600個と、ウォーターサーバー70台が、国際メディアセンター、代表団専用レストラン、プレスダイニングなどに設置されました。

「富士の湧水」は、“富士山景観形成地域”内の標高約950mに位置する自社製造工場で採水しています。また、「安全・安心でおいしく、環境にも良い商品を提供したい」という思いから、使い切り容器「D-パック」を使用しています。



G20大阪サミットの会場に設置した「富士の湧水」

再生医療分野における低温輸送システムの提供を開始  
輸送温度のリアルタイム監視が可能に



液化窒素の冷熱により-150℃以下の環境を保つ細胞輸送容器

当社はトッパン・フォームズ株式会社と共同で、再生医療分野で利用可能な新たな輸送温度管理システムの提供を開始いたしました。

本システムは、再生医療分野で細胞・医薬品を保管・輸送する際に、細胞・医薬品が収納された容器内外の温度管理を可能にするものです。温度管理は、当社が提供する液化窒素の冷熱を使用して-150℃以下の環境を保つ細胞輸送容器と、トッパン・フォームズ株式会社が新たに開発した温度ロガーおよび温度管理プラットフォームを利用します。これにより、-150℃以下の低温環境で温度・位置情報のログデータをリアルタイムで取得でき、再生医療等製品の輸送・保管時の温度品質が向上いたします。

今後、当社は本システムを再生医療に関わる医療メーカーや、医薬品卸、病院などに展開し、輸送・保管を通じて再生医療の発展に貢献してまいります。

新たなイメージキャラクターに  
宝塚歌劇団 宙組トップスター「真風 涼帆」さん起用

10月1日より、当社の新たなイメージキャラクターとして、宝塚歌劇団宙組トップスター「真風 涼帆(まかぜ すずほ)」さんを起用いたしました。

真風 涼帆さんは、現役のトップスターとして様々な舞台で活躍をされており、今後ますますの活躍が期待されています。当社は、2020年5月に創業90周年を迎えることから、「100年企業」に向けて挑戦を続ける当社のイメージにふさわしい存在として、また、当社の新たなイメージを訴求するため、起用を決定いたしました。

契約にあたり、企業CMと、今年の12月で発売50周年を迎えるカセットフーシリーズのCMを新たに制作し、10月1日より放映しています。また、今後、各種広告、看板、印刷物など様々なシーンで登場いただきます。



「真風 涼帆」さんプロフィール  
熊本県出身  
2006年「NEVER SAY GOODBYE」で初舞台。同年、星組に配属。  
2015年 宙組に組替え  
2018年 東京国際フォーラム公演「WEST SIDE STORY」より宙組トップスターに就任



# Iwatani

岩谷産業株式会社

## ホームページのご案内

IR(投資家情報)ウェブサイトでは、決算短信、有価証券報告書、コーポレートレポート等のIR関連資料、株主総会に関する情報等、株主・投資家の皆様のための情報を掲載しています。是非ご覧ください。

イワタニ  <http://www.iwatani.co.jp/>

◎IR(投資家情報)ウェブサイト

<http://www.iwatani.co.jp/jpn/ir/ir01.html>

<http://www.iwatani.co.jp/eng/investor/investor01.html> (英文サイト)